

名家連ニュース

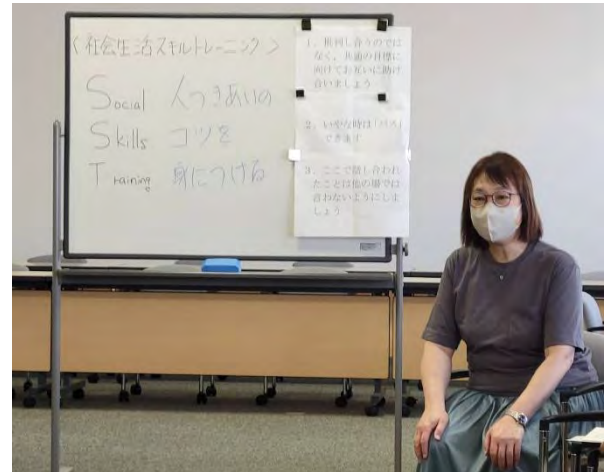
令和5年6月21日(水)
発行：特定非営利活動法人
名古屋市精神障害者家族会連合会
会長 池山 豊子
TEL/FAX(052)846-5576 NO.934号

◆◆ 令和5年度6月家族SST講座 報告 ◆◆

令和5年度家族SST講座が、梅雨中の晴れ間6月17日(土)に同朋大学 博聞館2階会議室で行われました。当会をパソコンで見つけて参加したという方等初めての方が3名、吉田先生を含めて14名で開催されました。換気等に配慮しながらマスクは各自の判断、水分補給は自由にとの確認をし、まず吉田先生が自己紹介をされました。そして「SST とは何か」「3つの基本的約束事」について説明がありました。

①始めに吉田先生が床に各色の折り紙を広げ、今自分が好きな色を指しての自己紹介でした。

②次に「最近の私あるいは家族」を一人ずつお話しただきました。



・自立を目指す入院中の息子を持つ一人暮らしの母。古く狭い家の処分を考えるが、強いこだわりを持つ息子のたくさんの古着や靴で片付けが進まず。どうしたものか？

・認知症の母と同居している双極性障害の姉が今年そう状態でお金を使い果たし、遠くに住む妹の自分に電話攻撃がすごい。どうしたらいいかわからない。

→同じ病の夫を持つ方に聞いてみると、「暴言が凄かったが三重の実家に1週間家を空けた時、妻の存在がわかったよう。ちょっと離れるのはいいかと思った。自分の好きな事は何かを思い出し、カラオケをYouTubeに上げているとの事に参加者もびっくり。対応が上手になられていました。

→又他の方から、「症状なので言った後は本人覚えていない。他人のようにただ聞くに徹してみてもは？」等の経験が話されました。

・自閉で入院中の20代娘より、小学校時代の事がフラッシュバックして携帯でメールが頻繁に母にくる。対応がわからない。→皆さんの話を聞いていたら、まずただ聞いてあげればいいのかなど。

・以前から参加されている不安障害の長男を持つお母さんに、先生がその後の様子を聞かれました。障害年金を取得して自立を考えるが主治医は診断書を頼んでも書いて貰えない。主治医を変わりたいとの思いもあるが最近少し症状が良くなってきた事もあり、どうしたらいいかと思案。

→先生が主治医交代経験のある方を尋ねると何人かみえました。家族会に入り今後を相談しながら進めることになりました。

・巨人ファンだが、カープファンの息子に合わせて好きになれば会話が弾むようになるかな？とのお父さんの声も聞かれました。

吉田先生より～SST とはコミュニケーションスキルのアップを目指す～苦手なことを練習し、人付き合いのコツを身に着ける。一人ではできないことも経験交流で、1歩でも半歩でも前に進めていきましょう。この講座の目的です。

次回は7月29日(土)同朋大学で開催です。名家連ホームページで交通アクセス等をご確認下さい。

(担当 熊谷)